

# ATM向け映像監視・保管システム

A Surveillance Camera Recording System for ATM Booth

Tatsuo Nishimura, Seishi Uchimura, Akio Sakamoto, Hozumi Nakadate

## 要旨

三菱電機インフォメーションテクノロジー(株) (MDIT) では近年普及が進んでいるネットワークカメラ専用の、録画サーバ「ネカ録<sup>(注1)</sup>」を販売している。ネカ録は、ネットワークカメラのメーカーを選ばず自由に組み合わせて表示/録画が可能なこと、IPネットワーク経由での統合的な遠隔監視が可能なことを特長としている。2006年2月の預金者保護法施行を契機とし、金融機関内の監視システムについて(財)金融情報システムセンター(FISC)のガイドラインに対応した大規模映像監視・保管システムの構築が必要となってきた。本稿ではネカ録を活用したATMコーナーの映像監視・保管システムの構築例、課題、特長について述べる。

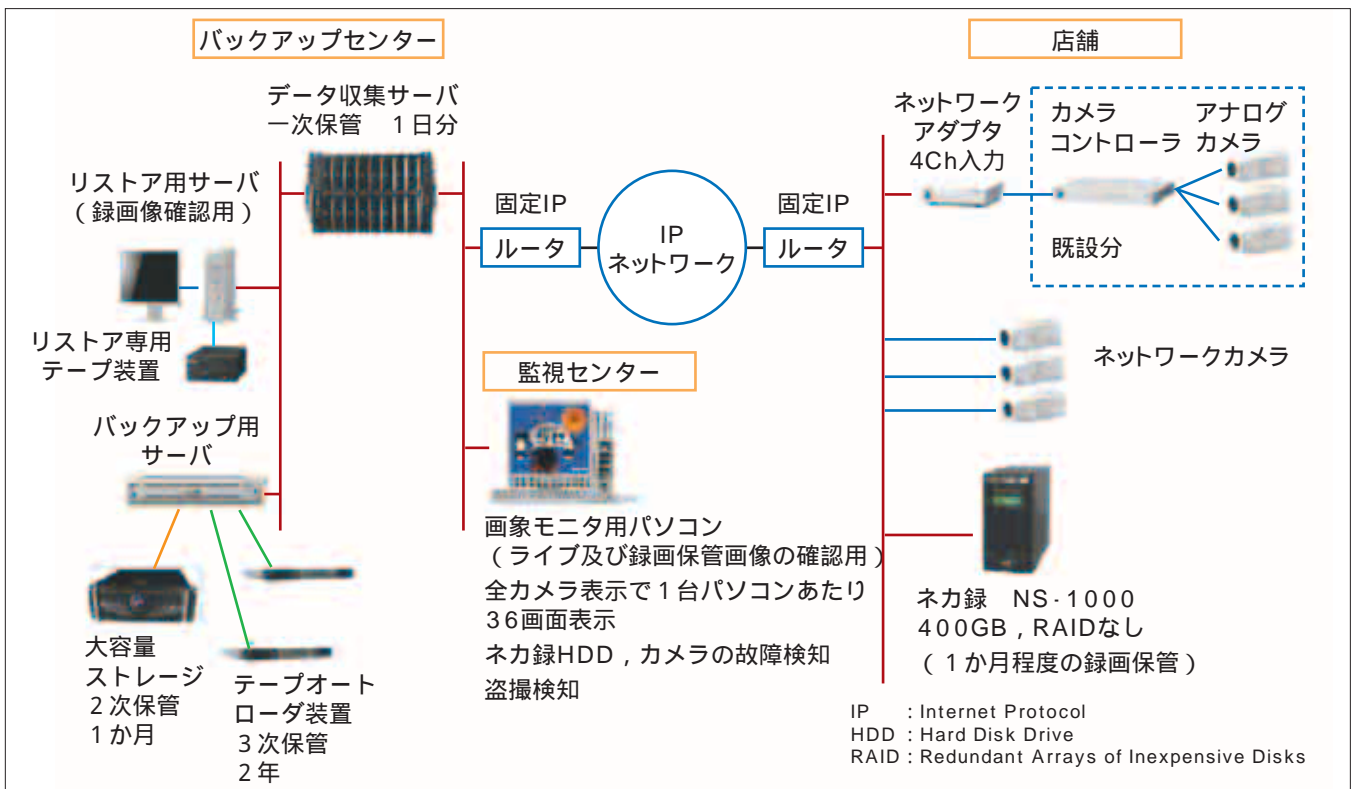
ATM向け映像監視・保管システムのポイントとしては次の要件がある。

(注1) ネカ録は、三菱電機インフォメーションテクノロジー(株)の登録商標である。

- 録画データの長期保管(2年間)を保証すること
  - ATMコーナーでの防犯対策を強化すること
  - 事件発生時に警察への協力がスムーズに行えること
- 今回の構築では長期保管に対してはLTO(Linear Tape-Open)の使用、防犯対策ではATMコーナーカメラの増設や盗撮検知装置との連動、警察への協力ではDVDによる録画像受け渡しで実現している。

また、構築にあたり次の点に留意した。

- サーバ、バックアップユーティリティなどには、オープンな製品を活用し、コスト低減を図る。
- 煩雑なLTOの操作を最小限にするため、1か月分程度は大容量のディスクアレイをキャッシュとして使用する。
- 320店舗に展開した「ネカ録」やカメラの遠隔保守を可能とする。



## ATM向け映像監視・保管システム

各店舗にはネカ録(NS-1000)を配置し、6か月程度の録画データを保管する。夜間にNS-1000に保管された当日の記録画像データをバックアップセンター内のバックアップサーバに1日分転送する。翌日、バックアップサーバからコピー用サーバを通じてテープオートローダ装置のLTOテープにバックアップする。同時にディスクアレイに直近2か月分のデータを保管する。2か月以内の画像であればリストア操作不要で録画像の再生が可能である。